

病気とつきあいながら、 家庭から学校に通う 子どものための学級があります。

身体虚弱特別支援学級

小・中学校に設置される特別支援学級です。

一日のどこかで身体を休める必要がある、大人による活動量の調整の必要がある、体調をこまめに見守る必要がある、普段は元気だが緊急な対応を必要とする場合があるなど、学校生活を送るうえで、病気などに対する支援や配慮が必要な子どものための学級です。

Q&A

Q1. 身体虚弱特別支援学級は、どこにありますか？

A1. 滋賀県内の小学校、中学校に設置されています。2018年度現在で小学校に36校、中学校に10校設置されています。

Q2. 身体虚弱特別支援学級では、どんな学習をしていますか？

A2. 子どもが必要としている支援や配慮に応じて、学習の内容や方法を工夫しています。教科や学習内容によって、身体虚弱特別支援学級で学んだり、交流学級で学んだりします。『自立活動』を通して自分の体調や病気とどのようにつきあっていくかを学んでいくことにも取り組みます。

Q3. いろいろ知りたいのですが？

A3. 滋賀県立守山養護学校に、お問い合わせください。

(連絡先は、右のページをご覧ください。)

滋賀県立守山養護学校は、病弱教育のセンター的機能を担う特別支援学校です。

滋賀県立守山養護学校(支援研究部)より

〈お知らせ〉

滋賀県立守山養護学校では、

教育相談を受けつけております。

お子さまが、病気とつきあいながら学校生活を送る上で、お困りのことなどがありましたら、どうぞお気軽に

ご相談ください。

滋賀県立守山養護学校

(滋賀県立小児保健医療センター隣接)

〒524-0022 滋賀県守山市守山五丁目6番20号

電話 077-583-5857

FAX 077-583-7543

E-mail moriyama-sh@pref-shiga.ed.jp

URL <http://www.moriyama-sh.shiga-ec.ed.jp/>



滋賀県立守山養護学校 大津分教室

(大津赤十字病院内)

〒520-0046 滋賀県大津市長等一丁目1番35号

電話 077-525-1276

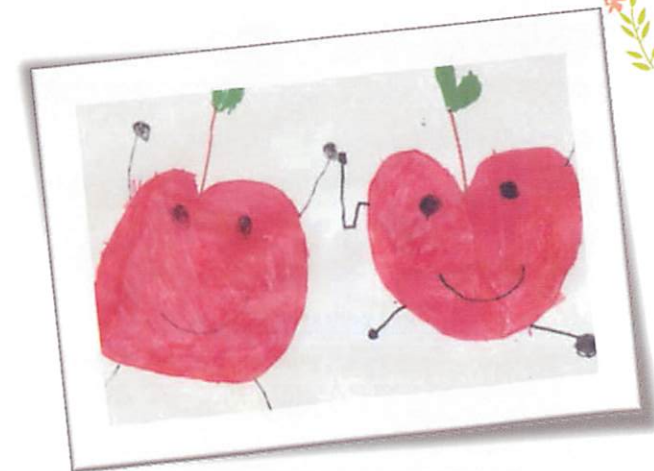
FAX 077-526-2740

E-mail o-moriyama-sh@pref-shiga.ed.jp

URL <http://www.o-moriyama-sh.shiga-ec.ed.jp/>

病気と つきあいながら 学ぶ子どもの ために…

入院しながら学べる学校があります。



『きすなアップル』

入院しながら学べます。

病弱（院内）特別支援学級

入院中の子どものために、病院内に学級があります。

院内学級と言われています。近くの小学校、中学校から教員が派遣され、学習をしています。

- ①高島市立高島小学校（高島市民病院）
- ②大津市立瀬田東小学校（滋賀医科大学医学部附属病院）
- ③大津市立瀬田中学校（滋賀医科大学医学部附属病院）
- ④近江八幡市立桐原東小学校
（近江八幡市立総合医療センター）

- ⑤彦根市立金城小学校（彦根市立病院）
- ⑥長浜市立長浜小学校（市立長浜病院）
- ⑦長浜市立長浜北小学校（長浜赤十字病院）
- ⑧甲賀市立水口小学校（公立甲賀病院）
- ⑨甲賀市立水口中学校（公立甲賀病院）



特別支援学校（病弱）

入院中の子どものために、病院の中に、または隣接して学校があります。

入院前に在籍していた学校（小学校、中学校、特別支援学校）とほぼ同じカリキュラムで、学習をしています。

A 滋賀県立守山養護学校〈小学部・中学部〉

（滋賀県立小児保健医療センター）

B 滋賀県立守山養護学校大津分教室〈小学部・中学部〉

（大津赤十字病院）

病弱教育巡回訪問指導教員派遣事業

院内学級などが設置されていない病院に、入院中の子どものために、教員の派遣事業があります。

入院している病院へ教員が訪問して学習をしています。学籍を移動する必要は、ありません。公立の小学校、中学校の子どもが対象です。

Q.「勉強は病気が治ってから…」とお考えの方もおられるのでは？

A. 子どもにとって、入院していても学校が身近にあることは、治療上の効果・心の安定・学力の保障などの意義があるといわれています。

入院しながら学べる 院内学級と特別支援学校の 施設マップ



①～⑪の紹介や

巡回訪問指導教員派遣事業の手続きなどは、滋賀県教育委員会のホームページからご覧になれます。

滋賀県教育委員会＞学校＞特別支援教育課
＞滋賀の特別支援教育について

Q. 入院中に教育を受けるには、具体的にどうすればいいですか？

A. まずは、主治医または病棟の看護師長にご相談ください。

あわせて、在籍している学校に連絡をしてください。

入院期間が短い場合でも、対応できるケースがあります。

一度ご相談されることをお勧めいたします。

このリーフレットは、

『病気の児童生徒への特別支援教育
病気の子どもの理解のために』

〔全国特別支援学校病弱教育校長会
国立特別支援教育総合研究所〕

を参考にして作成しました。

病気の児童生徒への特別支援教育

病気の子どもの理解のために



全国特別支援学校病弱教育校長会
独立行政法人
国立特別支援教育総合研究所